

04. リニアインパクト最大化プロジェクト

～2037年に三重県が変わります!～

リニアで創る新しい三重

この活動では、早ければ2037年に全線開業予定のリニア中央新幹線によって、三重県、特に伊勢志摩地域にどのような効果をもたらすのかなど、三重県におけるリニアインパクトを視察などを行い分析し、三重県庁の方と協力してリニアインパクトを最大化できるような様々な活動をしています。

メンバー数：10名
活動場所：伊勢市
実施主体：三重県 地域連携・交通部 広域交通・リニア推進課
担当教員：笠原 正嗣（現代日本社会学部）
活動年度：R03, R04, R05, R06



月別活動

- 5月 今年度の計画立て
- 7月 視察準備
- 8月 視察準備
- 9月 名古屋市視察
- 10月 伊勢祭り参加
- 11月 倉陵祭参加
- 12月 亀山市イベント参加



活動説明会

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度の活動の現在までの成果としては、主に3つ挙げられます。

1つ目の成果は、名古屋市視察です。今年度も昨年度に引き続き、リニア中央新幹線に関する視察を行いました。名古屋駅周辺の整備事業や現状についてなど、名古屋市の担当者様との対談を中心に駅建設現場の視察を行いました。今回の視察を通して、三重県開業時に活かせることや、リニア名古屋駅の先行開業に合わせて三重県が行うべきことなどについて考え、リニアインパクトを最大限活かすにはどうしていくべきかを考えることが出来た。

2つ目の成果は、亀山市で行われたイベントでのブース出展です。このイベントでは自分たちのブース出展と会場での手伝いをさせていただきました。リニア三重県駅が設置される亀山市でのイベントだったので、多くの県民の方が来場され交流する機会もあり、皆さん早が期開業してほしいという思いを改めて感じる事が出来ました。また、直接周知活動が出来たので、皇大生以外の方にもこの活動を知ってもらい、意義のある出展が出来たと思います。

3つ目の成果は、今年度から初めて行った各イベントで行ったアンケート調査です。この調査を通して、県民の方がリニア三重県駅が亀山にできることや、開業に期待しているかなどを知ることが出来ました。結果としては、アンケートに答えてくれた殆どの方が開業することに大いに期待していて、伊勢志摩定住自立圏への観光面で効果が及ぶと思っていることを知ることが出来ました。

今後の課題としては、リニア中央新幹線についての知識を増やすこと、1,2年生の参加者が少なく、今後活動できなくなる可能性があるため、SNSなどでの本活動の周知を行い、少しでも多くの学生に参加してもらえるように周知をしていきたいと考えています。

活動を通して学んだこと

「リニアインパクト最大化」という大きなテーマのもと、主にリニア開業効果の研究と県民にリニア開業への関心を持っていただくことを目的とした啓発活動の2点を行ってまいりました。研究においては、他県のリニア新駅候補地で視察を実施し、リニア開業効果についてより深く学ぶことができました。また、啓発活動では商業施設やイベント会場を利用し、新たに「意識調査アンケート」も実施しました。県民の皆様と触れ合いながら、リニア開業へ向けた貴重なご意見を集めることができ、来年度につながる有意義な活動となりました。

実施主体からのコメント

三重県 地域連携・交通部 広域交通・リニア推進課 担当者様

年度前半は、名古屋市への視察に向けた準備に力を注いでまいりました。事前に質問事項をまとめて先方に送付するなど、しっかりと準備してもらった結果、有意義な視察となり、リニア三重県駅の周辺に必要な機能について議論を深める良い機会になったと思います。

年度後半は、多くのイベントに参加してもらいました。特に12月に開催した「みえリニアフェスin亀山」では、活動成果の展示に加えて来場者へのアンケート調査を実施することで、県民のリニアへの期待や関心を肌で感じてもらえたと思います。

次年度は、これまでの活動を踏まえて、伊勢志摩圏域でのリニア開業効果を最大限引き出すためのアイデアをブラッシュアップしてもらおうことを期待しています。

担当教員より

現代日本社会学部 笠原 正嗣

活動4年目に入り、参加メンバーも固定化して充実した活動ができた1年であったと思います。本年度は「本格的ジャンプ」の段階と位置付けましたが、学生たちによる議題設定や書記・議事録作成など自主的な活動・運営、そして学外視察や式典参加への企画立案など安心して見守ることができました。ある種の「安定期」に入ったといえます。夏季休業中には当面の終着駅として建設工事が進んでいる名古屋駅のある名古屋市役所に向向き、市担当者とのディスカッションを行い、学びを深めることができました。毎月1回の定期ミーティングを重ねた成果として、リニアの社会的効果等への理解も進みました。洞リーダーを中心に充実した1年であったと思います。

特に、12月の亀山への県主催の大規模リニアイベントへの参画や、みえまちキャンパスでの活動成果発表など、確実に活動範囲を広げていることに「頼もしさ」を感じています。この調子で頑張ってください。

今年度で創設時メンバーであり最古参の大西君が4年間の活動を全うして卒業していきます。新4年生も就活等で活動参加頻度は減るかもしれませんが、来年度は、新3年生となるメンバーを中心に新規メンバーを積極的に迎えて、「活動第2章」（ホップ）として、一層のチャレンジをして欲しいと思います。頑張ってください！！



伊勢まつり



倉陵祭



名古屋視察

成果物 / 制作物



- ・県庁などの行政の仕事に興味がある人
- ・フィールドワークやイベントを通して県外で活動したい人
- ・未来の三重県をデザインしたい人
- ・旅行・観光が好きの人
- ・国家的プロジェクトに関わりたい人